



毎月、地域でおもしろいことをしている
北区の団体や人に会いに行くよ！
1月はどんな出会いがあるかなあ？



▲10月に行われた「つながるマルシェin あさぶ」の様子。
左：出店の様子、上：ダンススタジオによる発表、右：「つながる」ふれあいイベント

麻生商店街 振興組合

麻生を象徴する五差路を中心に、麻生地区に活気をもたらす麻生商店街振興組合は、昨年末に発足50周年を迎えました。今回は、麻生商店街振興組合 奈良 正彦事務局長にお話を伺いました。



麻生商店街キャラクター「あさぶー」

【問い合わせ先】
麻生商店街振興組合
☎ 707-9923

—麻生地区の魅力を教えてください。

商店街と地域のつながりが強いところですね。昭和前期まで亜麻の織維工場があったので、みんな亜麻を育て、ものづくりをしていた名残があるのでしょうか。町内会やまちづくり協議会と協力して、地域を盛り上げる活動が活発です。また、札幌市の交通の要所でもある麻生は、人の流れも多く、活気があるまちだと思います。

—50周年記念イベントを開催したと伺いました。

麻生地区で地域活性化や地域のネットワークづくりを行うNPO法人「麻生キッチンリあん」と共催して、「つながるマルシェinあさぶ」を開催しました。麻生地区にある覚王寺で行われ、麻生商店街振興組合加盟店の出店のほか、ダンスや合唱などをはじめとしたステージ発表もあつたんですよ。1200人以上に会場していただき、コロナ禍で長らく見られなかった、人と人がつながる光景に感動しました。

—商店街によるまちづくりとは？

商店街で使える商品券事業や飲み歩きイベントなど、商いの場としてのイベント運営はもちろんです。地域の方々にとって住みよいまちを目指した取り組みにも力を入れています。

例えば、地域への防犯カメラや商店街駐車場敷地への「防災備品倉庫」の設置、女性部が中心となって企画した「防災マップ」の作成など、地域の安全・安心を守る取り組みを行っています。

また、地域の子育て支援の輪を広げること、商店街の重要な役割だと思っています。「麻生キッチンリあん」では、「こども食堂」や学習支援のほか、「麻生発・こどもネットワーク会議」を立ち上げて地域の子育て支援に力を入れていますが、これらの活動に商店街も積極的に関わっています。



▲奈良事務局長

—次の50年に向けて意気込みを教えてください。

子育て世帯のサポートや福祉、介護の活動にもより積極的に取り組んでいけたらと思っています。また、学生も多い地域ですし、若者にも地域活性に携わってもらいたいので、若者向けの商業施設やイベントができればいいですね。

「地域あつての商店街」という観点を常に忘れず、これからも麻生のまちづくりに貢献していきたいです。

広告